

(2025年度入学生)

別表A「教育目的と教育目標」

『考え、行動する人材の育成』 ー社会で活躍できる人づくりー この教育目的を実現するために、以下の4項目を本学の教育目標とする。 (1) 創造する力 (2) 豊かな人間性 (3) コミュニケーション能力 (4) 基礎学力

別表B「学部、学科等の人材の養成及び教育研究上の目的」

【基礎・教養教育センター】 基礎科目、教養科目を通して、工学系、情報系、健康医療系の専門教育を学ぶための共通の基礎的な知識を身に付け、また、社会人として生きていくための教養をもち、自分で物事を考えていくことのできる能力を身に付けることを目的とする。
【教職教育センター】 各学科が育成する高い専門性を基盤に、教育者としての資質の涵養と高いスキルを身につけた優れた教員の育成を目的とする。目標とする人材像は、社会の要請に対処すべき専門性を教育に活かしつつ、免許教科に対する理解や、教育現場において学習者の興味・関心を喚起できる授業実践力を持ち、地域、友人関係、家庭など個人をとりまく多様な環境にも配慮した上で、先を見越した生徒指導のできる自立した教員である。
【工学部】 機械工学、電気電子情報工学、応用化学、生物工学の工学基盤に関する各分野の基礎知識・技術を身につけ、それらを応用して、さまざまな課題解決に積極的に取り組み、社会で活躍できる人材の育成 ○機械工学科 機械工学の基礎知識・技能を有し、これらを活用して工業製品の開発・設計・生産に貢献できる技術者および機械工学の基礎知識・技能を身につけた指導者の育成 ○電気電子情報工学科 電気電子情報工学の基礎・専門技術を身につけ、それらを実際に応用して社会に貢献できる技術者および電気電子情報工学の基礎・専門技術を身につけた指導者の育成 ○応用化学生物学科 化学と生物学に関する基礎的な理論と知識を身につけ、物質や生物の原理や法則の知識をを活かして、人間社会に役立つものを創り出すことができる幅広い職業人の育成

【情報学部】

情報工学、情報ネットワーク、メディアコンテンツ情報、システムの設計や開発の各分野の基礎知識と専門知識・技術を身につけ、それらを応用して、さまざまな課題の解決、または新たな情報システムやメディアコンテンツの創作に積極的に取り組み、社会で活躍できる人材の育成

○情報工学科

システム・ソフトウェア技術を基軸とする高度な専門性ととともに、多方面の専門家と協調しつつ問題解決を図るコミュニケーション力と、深い教養と幅広い視野を身につけた創造性豊かな情報技術者の育成

○情報ネットワーク・コミュニケーション学科

情報ネットワークの専門知識・技能を身につけ、それらを活用する力を持ち、社会で活躍できる技術者の育成

○情報メディア学科

創造性豊かで探求心あふれ、また社会人としての社会的責任と倫理観を持ち、情報メディアとそれを利用するアプリケーションやコンテンツを創作できる人材の育成

○情報システム学科

情報と情報技術に関する基礎的な知識の体系的・系統的な理解のもとに、情報システムの利用や開発及び管理に関する課題を合理的かつ創造的に解決することができる人材の育成

【健康医療科学部】

健康医療分野の基礎知識・専門技術と生命の尊厳を基調とした倫理観を身につけ、さまざまな課題解決に積極的に取り組み、地域社会の保健・医療・福祉の向上に貢献できる人材の育成

○看護学科

看護師として必要な専門的知識と実践能力を身につけ、他の医療関係職種と連携・協働して、地域社会の医療体制の整備と充実に寄与することのできる人材の育成

○管理栄養学科

管理栄養士・栄養士としての基礎・応用の知識・技術を身につけ、それらを活用する力を持ち、人類の健康と人類社会の安全に貢献できる人材の育成

○臨床工学科

臨床工学に関する専門的知識と実践的技術を身につけ、医療機器の安全性確保と有効性維持に貢献できる臨床工学技士の育成